

パーゼルⅡ第3の柱に基づく自己資本の充実状況等に関する開示

定量的事項

●自己資本の構成に関する事項

(単位:千円)

科	目	平成20年9月期	平成21年9月期
基本的項目(A) = (B) + (C)		1,289,626	1,312,941
組合員勘定(B)		1,289,626	1,312,941
営業種相当額△(C)		—	—
補充的項目対象額(D) = (E) + (F)		18,087	17,852
一般貸倒引当金(E)		18,087	17,852
負債性資本調達手段(F)		—	—
補充的項目不参入額(G)		—	—
控除項目(H)		—	—
自己資本額(I)		1,307,713	1,330,794
リスク・アセット(J) = (K) + (L)		7,746,364	8,417,885
資産(オンバランス)項目(K)		7,194,014	7,864,891
オフ・バランス・リスク相当額を8%で除して得た金(L)		552,350	552,993
自己資本比率(I) / (J)		16.88%	15.80%

(注)1.「協同組合による金融事業に関する法律第6条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に係る算式に基づき算出しております。

●自己資本の充実度に関する事項

(単位:百万円)

イ.	信用リスク・アセット、所要自己資本の額合計	平成20年9月期		平成21年9月期	
		リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
		7,194	287	7,864	314
①	標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	7,194	287	7,864	314
	(i) ソンリン向け	39	1	10	0
	(ii) 金融機関向け	1,501	60	1,881	75
	(iii) 法人等向け	1,313	52	1,687	67
	(iv) 中小企業等・個人向け	1,299	51	1,134	45
	(v) 抵当権付住宅ローン	638	25	632	25
	(vi) 3か月以上延滞等	20	0	29	1
	(vii) 出資等	703	28	791	31
	(viii) その他	1,677	67	1,697	67
②	証券化エクスポージャー	—	—	—	—
ロ.	オフ・バランス・リスク	552	22	552	22
ハ.	単体総所要自己資本額(イ+ロ)	7,746	309	8,417	336

(注)1.所要自己資本の額 = リスク・アセットの額 × 4%

- 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。
- 「ソンリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門(当該国内においてソンリン扱いになっているもの)、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体、信用保証協会及び漁業信用基金協会のことです。
- 「3か月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払いが約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソンリン向け」、「金融機関向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。
- オフ・バランス・リスクについては、当組合は基礎的手法を採用しています。

＜オフ・バランス・リスク(基礎的手法)の算定方法＞

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

●信用リスクに関する事項(証券化エクスポージャーを除く)

○信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類別の残高(業種別及び残存期間別)

(単位:百万円)

業種区分 期間区分	信用リスクエクスポージャー期末残高									
	エクスポージャー区分		貸出金、コミットメント及びその他のデリバティブ以外のオフ・バランス取引		債券		デリバティブ取引		3か月以上延滞エクスポージャー	
	平成20年9月期	平成21年9月期	平成20年9月期	平成21年9月期	平成20年9月期	平成21年9月期	平成20年9月期	平成21年9月期	平成20年9月期	平成21年9月期
製造業	871	877	—	—	871	877	—	—	—	—
農業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
林業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
漁業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	99	193	—	—	99	193	—	—	—	—
電気・ガス・熱供給・水道業	300	406	—	—	300	406	—	—	—	—
情報通信業	359	385	—	—	—	—	—	—	—	—
運輸業	100	190	—	—	100	190	—	—	—	—
卸売業・小売業	526	702	—	—	400	586	—	—	—	—
金融・保険業	8,189	7,670	—	—	1,070	1,578	—	—	—	—
不動産業	95	98	—	—	95	98	—	—	—	—
各種サービス	209	105	—	—	201	101	—	—	—	—
国・地方公共団体等	1,216	718	—	—	1,216	718	—	—	—	—
個人	5,272	5,048	—	—	—	—	—	—	53	62
その他	240	243	—	—	—	—	—	—	—	—
業種別合計	17,482	16,641	—	—	4,357	4,750	—	—	53	62
1年以下	3,958	2,684	—	—	483	802	—	—	—	—
1年超3年以下	4,086	4,050	—	—	1,202	1,302	—	—	—	—
3年超5年以下	2,529	2,885	—	—	1,682	1,675	—	—	—	—
5年超7年以下	1,571	1,407	—	—	891	684	—	—	—	—
7年超10年以下	788	928	—	—	97	286	—	—	—	—
10年超	855	786	—	—	—	—	—	—	—	—
期間の定めのないもの	3,692	3,897	—	—	—	—	—	—	—	—
残存期間別合計	17,482	16,641	—	—	4,357	4,750	—	—	—	—

(注)1.オフ・バランス取引は、デリバティブ取引を除いて記載します。

- 債券には外国証券を含んでいます。
- 「3か月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払いが約定支払日の翌日から3か月以上延滞しているエクスポージャーのことです。
- 上記の「その他」は、裏付となる個々の資産の全部又は一部を把握することが困難な投資信託等及び業種区分に分類することが困難なエクスポージャーです。具体的には現金、その他資産、固定資産等が含まれます。
- 貸出金の残存期間別の期間への振り分けについては、現貸出金が約定返済及び退社精算により返済となる額を各期間に振り分け入力しています。また、貸出金の未取利息については、残存期間別の各期間には振り分けせず、全額を「期間の定めのないもの」に入力しています。
- 当組合は、毎日新聞グループ内に限定して事業活動を行っているため、「地域別」の区分は省略しております。

○一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の残高及び前年同期比増減額 (単位:千円)

項目	平成20年9月期		平成21年9月期	
	残高	前年同期比	残高	前年同期比
一般貸倒引当金	18,087	△1,024	17,852	△235
個別貸倒引当金	29,628	8,868	30,478	850
貸倒引当金合計	47,716	7,844	48,331	615

貸出金償却額	—	—	—	—
--------	---	---	---	---

○リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額等 (単位:百万円)

告示で定めるリスク・ウェイト区分(%)	エクスポージャーの額			
	平成20年9月期		平成21年9月期	
	格付有り	格付無し	格付有り	格付無し
0	—	1,433	—	919
10	—	200	—	100
20	474	5,611	498	5,143
35	—	1,824	—	1,806
50	1,485	7	2,023	5
75	—	1,732	—	1,512
100	395	2,873	576	3,367
150	—	2	—	1
350	—	—	—	—
自己資本控除	—	—	—	—
合計	2,355	13,687	3,098	12,855

(注) 1.各付は、適格格付機関が付与しているものに限ります。
2.エクスポージャーは、信用リスク削減手法適用後のリスク・ウェイトに区分しています。

●信用リスク削減手法に関する事項

○信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー (単位:百万円)

ポートフォリオ	信用リスク削減手法	適格金融資産担保				保 証		クレジット・デリバティブ	
		適格金融資産担保		保 証		クレジット・デリバティブ		クレジット・デリバティブ	
		平成20年9月期	平成21年9月期	平成20年9月期	平成21年9月期	平成20年9月期	平成21年9月期	平成20年9月期	平成21年9月期
信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー		32	14	—	—	—	—	—	—
① ソブリン向け		—	—	—	—	—	—	—	—
② 金融機関向け		—	—	—	—	—	—	—	—
③ 法人等向け		—	—	—	—	—	—	—	—
④ 中小企業等・個人向け		—	—	—	—	—	—	—	—
⑤ 抵当権付住宅ローン		—	—	—	—	—	—	—	—
⑥ 不動産取得等事業向け		—	—	—	—	—	—	—	—
⑦ 3ヵ月以上延滞等		—	—	—	—	—	—	—	—
⑧ 上記以外		32	14	—	—	—	—	—	—

(注) 1.当組合は、適格金融資産担保について簡便手法を用いています。

●派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

該当事項はありません。

●信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項

該当事項はありません。

●証券化エクスポージャーに関する事項

該当事項はありません。

●出資等エクスポージャーに関する事項

○出資等エクスポージャーの貸借対照表計上額等 (単位:百万円)

区 分	出資等エクスポージャー							
	貸借対照表計上額	うち、売買目的有価証券に該当するもの		うち、その他有価証券で時価のあるもの				
		貸借対照表計上額	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価差額	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評 価 差 額	
						うち益	うち損	
上 場 株 式	平成20年9月期	2,040	—	—	653	2,040	1,387	—
	平成21年9月期	1,349	—	—	745	1,349	603	3
非 上 場 株 式 等	平成20年9月期	50	—	—	—	—	—	—
	平成21年9月期	50	—	—	—	—	—	—
合 計	平成20年9月期	2,090	—	—	653	2,040	1,387	—
	平成21年9月期	1,399	—	—	745	1,349	603	3

(注) 1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいており。

○子会社株式及び関連会社株式の貸借対照表計上額等

該当事項はありません。

○出資等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位:百万円)

出資等エクスポージャー	売却額			株式等償却
	売却額	売却益	売却損	
平成20年9月期	—	—	—	—
平成21年9月期	—	—	—	—

●金利リスクに関する事項

○銀行勘定における金利リスクに関する事項

21年9月末を基準日とする金利ショックに対する損益・経済的価値の増減額:金利リスク 158百万円